

2018 (H30) シカ年度 エゾシカ捕獲事業計画案 (隣接地域)

※第3期知床半島エゾシカ管理計画の管理目標：エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全するとともに、地域住民とエゾシカの軋轢緩和を図る。

1) 経緯と方針

- ・北海道森林管理局では、H25 シカ年度から遺産地域に隣接する宇登呂地区での捕獲事業を開始。H26 シカ年度から遠音別地区、真鯉地区において捕獲事業を開始。H29 シカ年度は5年振りに春苧地区での捕獲を実施。今年度も同4地区において捕獲を実施予定。
- ・希少猛禽類が高密度に生息していることから、捕獲方法は囲いわな及び箱わなを主体とする。
- ・地形条件等により囲いわな設置が難しい箇所においては、銃を用いた捕獲をH26 シカ年度から実施。
- ・囲いわなへの警戒心が強い個体が多いと考えられるため、引き続き囲いわな及び箱わなによる捕獲を実施しつつ、くくりわなを導入する。

表 5-2-2-1. 2013 (H25)-2017 (H29) シカ年度の囲いわな設置数

シカ年度	ウトロ地区 (基)	遠音別地区	真鯉地区	春苧古丹地区	計
H25	1(1)				1(1)
H26	2(1)	1	1		4(1)
H27	3(1)	2	1		6(1)
H28	4(1)	2	1		7(1)
H29	3	2	1	1	7

(注：カッコ内は三者協定によるもので外数)

2) 捕獲事業内容案

<全体>

- ・ 既存囲いわな（12月下旬～3月中旬）
森林管理局発注事業：4箇所
- ・ 既存箱わな（12月下旬～3月中旬）
森林管理局発注事業：2箇所 10基
- ・ くくりわな（1月～2月）
森林管理局発注事業：13基
- ・ 銃を用いた捕獲については検討中

2-1) 宇登呂地区

既存囲いわな 2箇所（ウトロ東、弁財崎）
捕獲目標頭数：15頭

2-2) 遠音別地区

既存囲いわな 1箇所（オシンコシン崎 2）
捕獲目標頭数：10頭

2-3) 真鯉地区

既存箱わな 6基、移設 1基（金山川）
捕獲目標頭数：10頭

2-4) 春苧古丹地区

既存囲いわな 1箇所（春苧古丹 1）
既存箱わな 3基（春苧古丹 2）
捕獲目標頭数：15頭

2-5) くくりわな

稼働する囲いわな及び箱わな付近において 13基のくくりわなを設置
設置場所はエゾシカの生息状況等により、適宜移動する
捕獲目標頭数：30頭